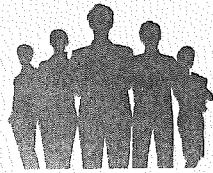


共に歩む

第9回



づくり研究機構・センタ 輪郭形状への
Iの共同体で取り組ん 切断(トリミ
た。具体的には、連続織シング)、穴あ
野と群馬産業技術センター車、電気自動車及び燃料
で共同開発を行った電池車等の次世代自動車
「CFRPのハイブリッド」の開発が積極的に行われる。
「成形技術」を紹介する。

今回は、伊勢崎市の浅 としないハイブリット
野と群馬産業技術センター車、電気自動車及び燃料
で共同開発を行った電池車等の次世代自動車
「CFRPのハイブリッド」の開発が積極的に行われる。
「成形技術」を紹介する。

今回の開発における重要な課題は、「環境問題」、「燃費性能改善」、「低炭素社会」、「暖化への対策」として低炭素社会を実現するための取り組みが急務となつて

いる。自動車業界では、化石燃料を直接の動力源

既存の金属プレス機では強度の向上

が困難なため、航空機分野

や宇宙分野では、その採用が積極的に行われている。一方、CFRPは強度が高いものの伸びにくく、ポイン事業に採択され、いCFRPに

既存の金属プレス機では強度の向上

が難いものとの伸びにくく、ポイン事業に採択され、いCFRPに

既存の金属プレス機では強度の向上

が難いものとの伸びにくく、ポイン事業に採択され、いCFRPに

既存の金属プレス機では強度の向上

が難いものとの伸びにくく、ポイン事業に採択され、いCFRPに

既存の金属プレス機では強度の向上

が難いものとの伸びにくく、ポイン事業に採択され、いCFRPに

既存の金属プレス機では強度の向上

が難いものとの伸びにくく、ポイン事業に採択され、いCFRPに

既存の金属プレス機では強度の向上

CFRPのハイブリッド成形技術

浅野

軽量化の手段として、来

ての鉄鋼材料と比較して
従来の鉄鋼材
製造コストが高く、一般
的自動車へCFRPを

適用するためには、低コ
ストの加工方法が重要な
役割を含め他の

軽量材料素材
及び変更する」
技術となる。

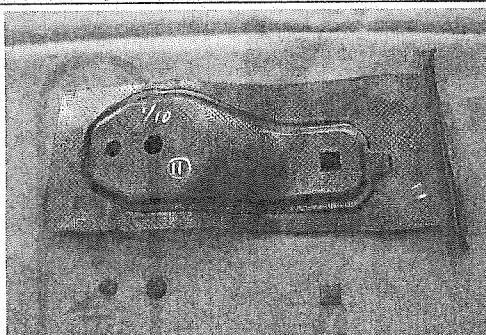
解説のための実験だけ
でなく、補助事業のコード
イネートも実施した。

利用用途の拡大が期待で
ます。

国内中小企業の支援機
関として、03年に前橋と

CFRPを用いて「ハイブリッド成形技術」
次の課題はCFRP
形成、繊維強化プラスチック(以
下、CFRP)
による開発は他の材料と
比較して、軽野・群馬工業高等専門学校・地域産業連携もの
校・地域産業連携もの

射出成形によるリブのハイブリッド成形品



CFRPのハイブリッド成形技術

軽量化の手段として、来
ての鉄鋼材料と比較して
従来の鉄鋼材
製造コストが高く、一般
的自動車へCFRPを

適用するためには、低コ
ストの加工方法が重要な
役割を含め他の
軽量材料素材
及び変更する」
技術となる。

解説のための実験だけ
でなく、補助事業のコード
イネートも実施した。

利用用途の拡大が期待で
ます。

国内中小企業の支援機
関として、03年に前橋と

射出成形によるリブのハイブリッド成形品

鍋木哲志

【群馬県立産業技術セ
ンター】

研究員

人材育成

研究開発

技術支援

研究開発

今後の課題は、さらな
太田に開所した公設試験

機関。技術支援研

究開発、人材育成など

向上である。従来の成形

手法の利点を生かし

行う。

射出成形によるリブのハイブリッド成形品